

**製品名: CRLF3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09408**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	48kDa

**抗原情報**

遺伝子名	CRLF3 CREME9 CYTOR4 P48
別名	
遺伝子 ID	51379.0
SwissProt ID	Q8IUI8
免疫原	ヒトタンパク質由来の合成ペプチド。アミノ酸範囲: 270~350

**背景**

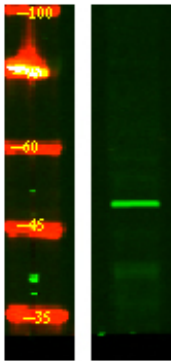
この遺伝子は、G0/G1 期における細胞周期の進行を負に制御する可能性のあるサイトカイン受容体様因子をコードしています。ラットの関連タンパク質の研究では、この遺伝子が神経細胞の形態とシナプス小胞の生合成を制御する可能性が示唆されています。この

遺伝子は、17番染色体Q腕の神経線維腫症I型腫瘍抑制領域に位置する複数の遺伝子の1つであり、この領域は微小欠失、重複、染色体切断、および再編成を受けやすい領域です。この遺伝子の選択的スプライシングにより、複数の転写産物バリエーションが生じます。関連する擬似遺伝子が染色体2および5上に同定されている。[RefSeq提供、2012年8月]、類似性：サイトカイン受容体様因子3ファミリーに属します。、類似性：1つのフィブロネクチンIII型ドメインを含みます。、組織特異性：皮膚および扁平上皮癌（SCC）と病変日光角化症（AK）で発現します。、

## 研究分野

-

## 画像データ



Hela 細胞溶解のウェスタンブロット分析。一次抗体は 1:1000 希釈。二次抗体は 1:10000 希釈。